

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和5年度分）

施設名	茨城県立中央青年の家
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）日本スポーツ振興協会
指定期間	R3.4.1～R6.3.31（3年間）

1 施設の概要

施設所在地	土浦市永井 987
施設の概要	敷地面積 77,387.265 m ² 本館（RC3階）2,447.87 m ² 、研修館 448.00 m ² 、研修分館 111.80 m ² 体育館 986.23 m ² その他の主な施設等 野外炊飯場 オリエンテーリングコース ウォークラリーコース 野外キャンプ場 宿泊定員 200 名
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身共に健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育・研修事業の実施 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・その他上記に付帯する業務

2 職員の状況

常勤職員：12人	非常勤職員：9人	合計：21人
----------	----------	--------

3 収支状況

令和5年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	115,486,000	人件費（給与等）	83,056,164
利用料収入	3,455,460	事業費	15,390,424
指定事業等収入	470,360	管理費	27,536,914
その他（食堂等）	18,825,268	租税公課等	10,433,368
収入合計	138,237,088	支出合計	136,416,870

4 利用状況

	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
①年間利用日数(日)	243日	238日	165日
②年間利用者数(人)	25,404人	19,916人	11,652人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	3,455,460円	2,081,340円	1,030,260円

5 サービス向上に向けた取組み

- ・事務所入口をガラスドアに改修することで、利用者に即座に対応できるようにするなど、サービス向上に資する施設整備を行っている。
- ・キャッシュレス決済サービス「J P Q R」を導入している。
- ・館内BGMのサービスを提供し、音楽による心地良い生活環境を提供している。
- ・「筑波山ジオツアー」などニーズの高い新しい事業を提供している。
- ・「IBARAKI FREE Wi-Fi」を設置し、Wi-Fi環境の整備による研修活動の充実を図っている。
- ・公式SNSを立ち上げ、効果的な情報配信に努めている。
- ・「食育」にも力を入れ、ホームページで食育に関わるコラムを配信している。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・通年：退所時に利用者に対してアンケートを実施（回答 200 件）

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 56.8%、満足 33.2%、ふつう 9.0%、不満 1.0%、大いに不満 0.0%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 65.3%、満足 29.2%、ふつう 5.5%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

③施設の清潔さ

大いに満足 53.3%、満足 31.8%、ふつう 13.8%、不満 0.9%、大いに不満 0.2%

④プログラムの内容

大いに満足 54.1%、満足 33.7%、ふつう 10.7%、不満 1.5%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 50.0%、満足 42.9%、ふつう 7.1%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・カレーのルー等、アレルギー対応をしていただきまして、ありがとうございました。
- ・いつもは飽きっぽい子ども達も、一生懸命に取り組んでいました。職員さんの温かい声かけに子ども達もやる気が増して楽しそうでした。
- ・こちらの不手際にもかかわらず、あらゆる面で柔軟に対応いただき感謝しかありません。
- ・野外活動もレクリエーションもバリエーション豊富で何度来ても楽しめると思えました。
- ・設備も更新されとても清潔で安心して過ごせました。

【悪い点】

- ・隣の学校の朝の起床時間が早かった。学校同士ルールを揃えた方が良いのか、独自で決めて良いのか分からなかった。
- ・事務所入口が鉄扉で、職員がいるかわからない。ノックも聞こえ難い。
- ・体育館カーテンレールが一部無かった。早く修理願います。

【要望】

- ・食堂の氷を使わせて欲しい。熱中症の対策に協力して欲しい。
- ・お風呂 30 分は短すぎました。人数が 10 数を超えたら 30 分ずつ頂きたい。

○対応状況

- ・カーテンの重みでレールが落下。レールを新たに付け替える修繕を行った。
- ・男女 1 か所ずつの浴場を共用するため、同日複数団体利用の際は、団体の事情や都合を考慮の上、順番や時間配分について助言し、各団体間の調整を図っている。
- ・事務所入口をガラスドアに取り替える改修工事を行い、一目で職員の在所状況を確認いただけるようにした。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検専門業者に業務を委託し、適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	施設の良い衛生環境、美観維持への取組み、利用者へ快適な空間の提供に努めている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に基づき適切に修繕し、施設を安全かつ安心して利用いただけるよう、利用者への良質な環境の提供、安全管理に努めている。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	関係条例等を遵守し、適正な運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	予約・利用許可等については、定期・随時利用申込みの各手順において、平等・公正に行った。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	「ドローンプログラミング教室」や、元劇団四季団員による「ミュージカルワークショップ」など、魅力的な事業を実施した。	A	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	利用者アンケートを業務改善に役立て、施設設備の改善を積極的に行った。また、全ての事業でアンケートを実施し、利用者の要望等を把握し、分析・評価・考察を行っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	教諭免許保有者(元中学校校長、高等学校校長他)、1級建築士、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員、危険物取扱(乙4)、ボイラー取扱者、マイクロバス運転免許等、有資格者の適切な人員配置をした。	A	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望や苦情等への初期対応に注力し、迅速かつ適切に対応するとともに、二次クレームに発展しないよう心がけている。また、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを整備するとともに、消防訓練の実施及び職員研修、職員による日常点検の徹底、避難誘導體制の整備を行い緊急時の対応に万全を期している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	茨城県教育研修センター(講師派遣依頼)、県南各市町村教育委員会(事業広報等)など関係機関との連携・調整をした。また、ジオパーク推進協議会、地元JAなどと連携し、事業を展開した。	B	B

利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、直ちに宿泊利用者が回復することはなく、利用者数は、大きな影響を受けることとなった。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	稼働率は81.0%で、コロナ禍の影響により稼働率が減少した。	C	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	施設利用料金および事業収入に大きな影響を受けたが、執行計画に基づき、適正に執行している。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費は、適切に支出し、経費削減に努めた。部品交換など自前で対応できる修繕は、専門職員が行い、経費を縮減しながら適切に修繕を行っている。	B	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <p>全ての事業において利用者アンケートを実施することで、要望等を把握し、業務改善に役立っている。施設設備の破損・修繕等には即時に対応するなど、利用者が安心・安全に利用できるよう努めている。「筑波山ジオツアー」など新規のプログラム開発に積極的に取り組み、公式 SNS で情報発信を頻回に行うなど、利用拡大を図りつつ適切に管理運営されている。</p>				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの